

令和4年度『赤ちゃんふれあい(いのちを育む)事業』 中学生追跡調査の概要

1. 調査の趣旨

佐世保市では平成 27(2015)年度より佐世保市幼児教育センターが運営主体となって『赤ちゃんふれあい(いのちを育む)事業』(以下、事業)を実施しており、西南学院大学大学院門田研究室(研究代表:門田理世)では平成 29(2017)年度から事業に参加した赤ちゃんの保護者と小学生にとって、事業での経験がどのような意義をもつのかを調査・検証してきた。事業は、参加する小学生にとって赤ちゃんやその保護者とふれあう経験が、①いのちの大切さ・尊さ・不思議さ、②相手を思いやる気持ち、③自分の家族(親)との関係を考えるきっかけ、④親の思いを知る、⑤将来の子育てを体験する機会となることを目的に行われており、これまで小学生や保護者にとっての事業の意義を各年で調査結果として報告してきた。

事業に参加した小学生にとっては、赤ちゃんへの感情が好意的なものになる、将来自分が親になった時の姿を思い描けるようになる等の意義が明らかになってきたが、事業の目的であるいのちの大切さや尊さ、不思議さを感じることや思いやりの気持ちを育てること等の心の涵養は、長期的な視点でその育ちを検証する必要がある。そこで今年度は、小学5~6年生の時に事業に参加し、赤ちゃんやその保護者とふれあう経験をした子ども達が、数年経った中学 3 年生の時点で、小学生当時の事業経験をどのように振り返るのか、現在の自分への影響を感じているのか、事業への参加経験の有無によって中学生の赤ちゃんに対するイメージや子育てに対する意識に影響を与えるのかを検証するため、追跡調査を行った。

赤ちゃん小学生の交流は全国的に行われており、赤ちゃんとのふれあいが小学生にもたらす影響や意義について調査がされているが、3~4年という期間を空けてふれあいの長期的効果を縦断的に検討した研究は見当たらない。本調査で、過去の赤ちゃんふれあう経験が思春期の中学生にとってどのような意味・意義・効果をもつのかを明らかにすることができれば、人の育ちや発達を考える上で赤ちゃんふれあうという経験がどのような意味をもつのかについて長期的な視点から検討が可能になると考えられる。

2. 調査対象

平成 30(2018)年度の事業に参加した当時の小学5年生(白南風小学校)と令和元(2019)年度に参加した当時の小学6年生(木風小学校・潮見小学校)を含む佐世保市立山澄中学校3年生 103 名

3. 調査方法

- ① 佐世保市立山澄中学校の3年生 103 名を対象としたアンケート(所要時間:15 分程度)
- ② アンケートの紙面上でインタビュー調査への協力を承諾した 26 名に対するインタビュー(所要時間:15 分程度)

4. 調査日時・実施場所

- ① アンケート実施日: 令和 4(2022)年 12 月 2 日、7 日
 - ② インタビュー実施日: 令和 5(2023)年 1 月 19 日 16:00-17:00
- ・ 調査実施場所: 山澄中学校

5. 倫理的配慮

調査実施にあたり、佐世保市幼児教育センター及び山澄中学校校長に対して、口頭及び書面で研究の趣旨・得られたデータの取り扱い・個人情報の保護に関して説明を行った。山澄中学校校長からは了承の上で調査同

意書に署名を得ている。また、インタビューを受ける中学生に対しても口頭及び書面で上記の配慮事項について説明を行い、調査協力への同意を口頭で得てからインタビューを行った。

6. インタビューの質問内容

インタビューは過去の事業参加記録と中学生が回答したアンケートの内容を照らし合わせて、事業に【①過去に参加していて参加したことを覚えている】【②過去に参加しているが参加したことを覚えていない】【③過去に参加したことがない】の3つの属性に合わせて質問内容を変えている。ここでは①の質問項目を例として記載する。

問 1	日頃生活していて赤ちゃんとふれあったり、見たりする機会がありますか？
問 2	佐世保市では小学5.6年生の子どもたちが1歳ぐらいの赤ちゃんやそのお母さんとふれあったりお話を聞いたりする赤ちゃんふれあい事業というものをしています。あなたは、このふれあい事業に参加しましたか？
問 3	小学生の時に参加した赤ちゃんふれあい事業で、あなたは赤ちゃんのお母さんと何か話をしたか覚えていますか？
問 4	小学生の時に参加した赤ちゃんふれあい事業で、お母さんが赤ちゃんにどうかかわっていたのかを覚えていたら、覚えていることを教えてください。
問 5	小学生の時にふれあい事業に参加した後、クラスのお友達がどんなことを言っていたかとか、クラスのお友達と一緒にどんな話をしたかとか、覚えていることありますか？
問 6	中学生になった今、もう一回赤ちゃんとふれあうこういう場があったら参加したいと思いませんか？
問 7	あなたが小学5年生の時に赤ちゃんふれあい事業に参加してからかなり時間がたっていますが、なぜ4,5年前の事業でのことを今でも覚えていたのだと思いませんか？
問 8	今回はアンケートを取った時に、このインタビューに協力してくれると答えてくれた人にお聞きしています。あなたはなぜインタビューを受けてもいいと思ったのか教えてください。
問 9	アンケートでは、自分にとって赤ちゃんと触れ合うことは大切なことだと思いますか？という質問に対して、大切だと思うという回答でした。その理由としては「〇〇」と書いてくれているけど、小学 5.6年生の時に赤ちゃんに触れたり子育て中のお母さんの話を聞いたりする経験をするのが今の自分にとって意味があると思いませんか？
問 10	ちなみに、もう少し将来の自分が大人になって子どもをもった時には、小学 5.6 年生の時にそういう経験をしたことに意味があると思いませんか？
問 11	少し難しい質問かもしれませんが、赤ちゃんという存在は今の社会の中でどういう存在だと思われるのか、あなたなりの考えを教えてください。
問 12	あなたは、将来自分が大人になったら子どもが欲しいと思いませんか？今の時点での考えていいので教えてください。
問 13	あなたは今 佐世保市に住んでいて、この町で自分も子育てしたいと思いませんか？
問 14	最後の質問です。あなたは今、将来の夢がありますか？もしよかったら教えてください。

7. 本調査の分析結果および考察

今回のインタビュー調査で得られたデータについては、今後、質的研究の手法を用いて分析する。その結果および考察は、佐世保市への成果報告書及び学会発表や学術論文等の形で広く公開していく予定である。

以上